

社員旅行 & 研修

アメリカに社員旅行&研修に行っていました。

～ロス港について～



Los Angeles港湾局に勤められている日本人の方より、港湾についてのお話を頂戴しました。Los AngelesにはLos AngelesとLong Beachの2つのターミナルが存在します。名称が分かれているのは市が分かれているため、昔はLos Angeles Portしかありませんでした。場所としてはどちらも隣接した同じターミナルです。総称してSan Pedro Portとも言うそうです。港湾での仕事は具体的な例を出すと、アメリカ西岸では鉄の自国消費量は年間800万tonであり、そのうち600万tonしか自国で生産できません。そこで足りない残りの200万tonについて対策を打つのですが、自国生産量を一から200万ton上げるよりも、他国から輸入をすることでコストセーブして消費量を賄う事ができるため、港湾が各国を調査し、鉄の輸入国として適切な国に残りの200万tonの輸入の誘致をしていきます。そこから新たな物流が生まれます。港湾の仕事はこのような仕事もされているそうです。日本の港湾は主に自港を使って欲しいというアピールに終始しており、このような仕事はあまりないのではないかとおっしゃっていました。ロス港では今後の荷量については2030年をめどに現在の2倍を想定しており、これらを課題として、ロスサンゼルスターミナルを今後も発展させていく考えがあるそうです。まだまだ物流は陰りを見せず、人口の増加と共に発展していく事を感じたと同時に、それを実現させるためには港湾はもちろん世界中のビジネスが繋がらないと難しい事でもあると感じました。

名古屋本社 前田

～Great Luck 社（弊社米国子会社）について～

9月13日から9月17日までジャパントラストアメリカ現地法人『GREAT LUCK INC』を見学してきました。GLIはロス本社/シカゴ支店/NY支店の拠点を設けているが、JTCの北米輸出入サービスではその規模を活かし荷主様や乙仲様により安心して頂けるネットワークを肌で感じる事ができました。また、そのサービスをお客様に浸透させるにはJTCとGLIの連携プレイがより必要だと強く実感しました。荷主様や乙仲様よりよく質問される内容と致しまして西海岸と東海岸では時差があるためどう対応すべきか？という事に対しては時差出勤して対応するので問題はないとの事です。

（西海岸と東海岸の時差：約3時間）

現地の営業スタイルとして

アメリカも日本同様、リレーション（人脈）が重要となっている。また、アメリカ人はリアクションで行動する傾向がある、それに対し日本人は予想して行動する傾向がある。

国は当然違いますが、文化や考え方も大きく違うアメリカ。本当にすべてが大きく、いつかまた絶対に行ってみたい魅力ある国です。

名古屋本社 久瀬



お客様の裏話



創業1645年、今年で創業から367年を迎えたヤマサ醤油。暖流と寒流が沖合いで交わる太平洋に突き出た千葉県銚子は、夏は涼しく冬暖かく、しかも湿度が高いという気候風土をもっています。これは、こうじ菌や酵母、乳酸菌などの働きにより、大豆や小麦を分解し、発酵・熟成させるしょうゆづくりには、最適な環境といえます。ヤマサしょうゆは、このような恵まれた自然環境のなかで、すぐれた技術と最新の設備により、じっくりと時間をかけてつくられます。また、ヤマサしょうゆ最大の特長である「芳香」は、創業以来、受け継ぎ育てられてきたこうじ菌である「ヤマサ菌」でしかつくれません。ヤマサしょうゆが高級日本料理店などで高く評価されるのは、このヤマサ菌にしか出せない色・味・香り、他には真似できない風味のよさのあらわれといえます。

ヤマサ醤油株式会社 貿易課 西林様より

日本の中でも名高いヤマサしょうゆを、ジャパントラストは輸送を請け負い、アメリカ人の食卓へ届けています。